

令和5年

第2回仙北市議会臨時会

市 政 報 告

仙 北 市

令和5年第2回仙北市議会臨時会 市政報告

令和5年第2回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、新型コロナウイルスのワクチン接種等についてです。

5月21日から市内3会場にて、65歳以上の初回接種を終えた方、5歳から64歳以下の基礎疾患のある方及び医療・介護従事者を対象に集団接種を行います。接種券は、はじめに75歳以上のオミクロン株対応ワクチン接種済みの方4,600人あまりに送付し、次に5月中旬に65歳から74歳の方4,000人あまりに送付する予定です。

なお、5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行することとなり、また、現在のところ県内の感染状況には落ち着きが見られるものの、医療機関やワクチン接種会場等においては引き続き基本的な感染対策にご協力をお願いします。

次に、仙北市の人口動態について報告します。

3月31日現在、人口は2万3,835人で前年同月比645人減、世帯数は1万379世帯で前年同月比87世帯減となっております。出生数は令和4年4月から3月までで70人となっております。前年同時期の出生数は81人で、11人減という状況です。引き続き子育て及び若者関連施策の充実を図ります。

次に、一般会計補正予算(第2号)についてです。

第2号の補正額は、1億9,492万1千円、補正後の額は205億8,453万7千円です。補正事業は、インターナショナルスクール誘致事業費、介護保険特別会計繰出金、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費、PHR管理運営事業費、医療MaaS管理運営事業費です。

次に、行財政改革の進捗についてです。

厳しい財政状況を打破し、幸福度 No.1 のまちづくりを進めるにあたり、各部の経営方針の見直しを行いました。5月には市民意識調査アンケート、6月には施策評価、一般財源比率が高い事業の事務事業評価の実施を予定しています。総合政策審議会を経て、秋にはその結果をお示しいたします。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇危険業務従事者叙勲の受章について

4月8日、第40回危険業務従事者叙勲の発表がありました。仙北市では、元大曲仙北広域市町村圏組合消防監の辻邦明つじくにあきさんが消防功ずいほうそうこうしょう労で瑞宝双光章を受章されました。

この度の受章は、永年にわたる職務の精励や功績、功労が認められたものです。市民の皆さんと共にご労苦に感謝し、心からお祝いを申し上げます。

◇消防団長の交代について

3月31日をもって渡辺勇悦わたなべゆうえつ氏が消防団長を退任されました。平成31年4月1日からの就任以来、長きにわたり仙北市民の安全安心と福祉の向上のため、活動いただきました。これまでのご尽力に心から感謝申し上げます。

4月1日付けで消防団長に元副団長の佐藤乃三さとうだいぞう氏が就任しました。任期は令和6年3月31日までです。佐藤新団長におかれましては、今後益々のご活躍を期待申し上げます。

【企画部】

◇ふるさと納税について

令和4年度の最終寄附額見込みは、18億 5,641 万 2,500 円で前

年に比べ7億2,249万8,500円の増となり、これまでの最高を記録した令和2年度を約3億9,700万円上回りました。4月19日現在の集計速報値では、全県で1位となっています。令和5年度は、中間事業者の見直しや総務省のアドバイザー制度を活用し、寄附額のさらなる増加に取り組みます。

◇秋田県立大学との連携協定について

3月27日、秋田県立大学と文化財や環境の保護、地域を担う人材育成と若者の地元定着、地域産業・経済の活性化、地域の課題解決に向けた取り組み等に関する連携協定を締結しました。

また、秋田県立大学から樹木医補の資格を持つ板橋朋洋^{いたばしともひろ}さんを桜の保全担当として採用しました。

今後は、秋田県立大学の知見やノウハウを活用し、経済活性化や地域課題の解決に取り組むとともに、大学の研究のためのフィールドの提供等により、双方にとってより良い環境の実現を図り、持続可能な社会の構築を目指してまいります。

◇仙北市「メルカリ Shops」の開設について

3月29日、法人等が出品できるサービス「メルカリ Shops」に店舗を開設しました。

公共施設の統合などにより生じた物品等のほか、SDGs未来都市として全国に先駆け、防災備蓄品のうち賞味期限が近くなったものを販売し、その売上金を次の備蓄品の購入資源等に充てる『官民共同型ローリングストック』モデルの実現を目指します。

また、この取組を進めることで、仙北市の税外収入の確保、そして、仙北市の知名度の向上が図られました。今後も同様の取組を進めることで、税外収入の向上を目指します。

◇令和5年度部局経営方針シートについて

昨年10月にお示した各部局の経営方針シートについて、予算の状

況や法令改正、新たな部局長の視点による見直しを行いました。4月25日には、管理職を対象とした部課長等会議で説明・質疑応答を行っています。修正を加えた最終版をタブレットに配信していますので、内容のご確認をお願いします。

【市民福祉部】

◇マイナンバーカードの交付状況等について

3月31日現在、マイナンバーカードの申請率は、76.49%、交付率は68.06%となっております。引き続き、市役所内において顔写真の撮影からカード申請完了までのサポートを行っています。

【観光文化スポーツ部】

◇あきた花紀行について

令和5年度の「あきた花紀行」は、例年にない早い開花により、西木町^{やっかまたり}八津・鎌足の「かたくり群生の郷」の開園は1週間前倒しの4月8日に、また「刺巻水ばしょう祭り」は予定どおり4月11日からとしたものの、当日にはほぼ見頃となりました。

「角館の桜まつり」も例年にないほどの早い開花により、4月20日からの会期を前倒しし、開会式やライトアップ、歩行者天国などもあわせて4月15日から開始し、会期は5月5日までです。

今年の桜前線は3月の平均気温が観測史上最高を記録したため、過去最速で北上し、本市でも角館樺細工伝承館前のシダレザクラが4月5日に開花し、9日に満開、桧木内川堤のソメイヨシノは4月8日に開花し、12日に満開の状況となりました。見頃は7日から10日ほど続き、ウソの食害による影響はほとんど見られませんでした。

◇武家屋敷の公開について

武家屋敷の公開事業については、桜の開花に伴い公開を早め4月7日から順次、市管理の「岩橋家」「小田野家」「旧松本家」の公開を始められています。

有料公開3年目となる武家屋敷「河原田家」は、角館伝建群の拠点施設として、引き続き公開内容の充実に努めてまいります。

【農林商工部】

◇株式会社ストロベリーファームとの連携協定締結について

4月25日、株式会社ストロベリーファームと「夏秋イチゴ^{かしゅう}の産地創出を目的とした連携協定」を締結しました。協定締結により、高収益な農業ビジネスモデルの普及による農業の活性化や市内における雇用創出など、地域活性化に資するという共通の目的を改めて確認し、取り組みを更に推進します。

【建設部】

◇国道46号盛岡秋田道路について

3月31日、国土交通省から「生保内～卒田間」の事業化に向けた道路調査の見通しが公表され、今年度から「計画段階評価」を進めるための調査が実施されることになりました。整備促進期成同盟会では、「生保内～卒田間」の整備に繋がる早期計画策定を特別重点要望し、関係省庁、地元選出国會議員等へ要望活動を続けた結果が実ったものです。

これまでご尽力いただいた関係の皆様にご礼申し上げます。今後も引き続き、早期計画策定、早期事業着手を要望してまいります。

◇令和5年度国庫補助事業について

令和5年度の国土交通省道路局所管の国庫補助事業については、「社会資本整備総合交付金事業」は、国費要望額に対しての内示率は、50.1%で、昨年度1億2,141万1千円に対し、今年度は1億1,655万4千円となりました。

一方、既存の橋梁補修をメインとした「道路メンテナンス補助事業」は、国費要望額の満額1億2,091万1千円の内示で、トータルでは昨年度を若干上回る内示率となりました。

今後も引き続き道路整備予算確保のために要望していきます。

【医療局】

◇急性期画像連携について

角館総合病院で「遠隔画像診断システム」の試行運用が実施されました。今後は、病院間での CT・MRI 画像、医療情報の共有により、専門医が不在でも、秋田大学医学部附属病院から、画像を基にした助言を得ることが可能になります。

こうしたデジタル技術の積極的な活用により、早期に適切な治療を受けられる体制の構築と、限られた医療資源の有効活用を図ります。医療 MaaS の推進も合わせ、デジタル技術の活用を進めていきます。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本臨時会に提案している案件は、専決関係3件、予算関係2件の計5件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。